

トピックス Topics

毎月第4金曜日号でお伝えします



大住小学校の保護者や先生を前に中高一貫校の構想を説明

小学校を回って 中高一貫校の説明会

平成十二年四月に開校予定の秋田市中高一貫校の取り組みを、小学生の保護者や先生に知ってもらおうと、一月二十五日から二月十七日まで、市立小学校四十校で設立構想の説明会が開かれました。

二月九日の大住小学校での説明会には約九十人が出席。設立の意義や学校の規模、授業内容、御所野地区に開校する経緯などの説明を聞きました。

出席した二年生のお父さんは、「全国に先がけて取り組んだことを評価したい。本当に良いのかまだ分からないが、新しい個性を伸ばす教育に魅力を感じました」と期待を寄せている様子でした。

市教育研究所の濱田副所長は、「教育改革の先導的実践校となる中高一貫校の必要性につ

いて、約二千二百人のみなさんが真剣に耳を傾けてくださいました。中高一貫校の成果を、全市に波及させていくことの大切さを改めて感じています。」

市内の全小中学校で 真冬の防災訓練



これに雪を入れて温めるのか...

冬の大地震を想定した防災訓練が、一月二十九日、小学校四十一校で一斉に行われました。

冬の防災訓練は初めての取り組み。余裕教室を緊急救援物資の備蓄にあてている中通小学校では、避難訓練のあと、五、六年生が非常食を試食。缶詰のかゆを食べるため、雪をなべに入れて炭火で解かし、温める方法を体験しました。

訓練に立ち会った石川市長は「災害は季節を問いません。でも、訓練の経験があると、いざというとき、どのような行動もできます」と、子どもたちに日ごろの備えの大切さを語りかけました。

インターネットで 世界と交流

一月二十二日、すべての市立中学校をインターネットで結ぶ「はばたけ秋田っ子ネット」が



ちょっぴり緊張のインターネット会議

完成し、そのオープニングセレモニー(開通式)が行われました。

この日は、茨島の教育研究所を主会場に、テレビ会議システムを使って、オーストラリアの中学生との交流や、市内三つの中学校と結んでの環境や福祉の討論会も行われました。

山王中学校の須藤麻里子さんと田村めぐみさんは、「インターネットは、自分たちだけでは思いつかないようなアイデアを共有できるところがスゴイ。学校でもみんなできているなことに使ってみてほしいな」と話してくれました。

インターネットは、市内の中学校だけでなく、海外の人たちとも簡単に交流ができる手段のひとつ。「はばたけ秋田っ子ネット」をどんどん活用して、世界にはばたいて欲しいものです。

食べてよし、遊んでよし 同時開催で一大イベント

秋田の味覚を楽しむ「美の国秋田冬まつり」と県内の小正月行事を紹介する「童っ子の雪まつり」が、二月六日、七日の二日間、八橋運動公園を会場に、今年初めて同時開催されました。



力強い馬そりは子どもたちに大人気

会場には、きりたんぼ鍋や旬の地酒など四十店以上の店が並び、子ども連れのご家族や県外観光客などでにぎわいました。

「同時開催というので、ワクワクしながら来ました。山菜の入ったおぼこ鍋に、心も体も温まりました」と川元山下町の鎌野目雅夕美さんとトモ子さん。子どもも大人も、秋田の冬の魅力いっぱいイベントを満喫していました。

冬でも動物たちは 元気かな？

二月十四日、大森山動物園で冬の動物たちの生態を観察してもらうおと、「冬のわくわく観察会」が開かれました。



人気のサル山では餌やり体験に人垣

を中心に七百人以上のかたが参加。寒さに強かったり弱かったりする動物たちの様子を観察しました。山本町から訪れた小松園華さんと夕姫さん姉妹は、サル山で餌やりも体験し、「冬に動物園に来たのは初めて。とてもおもしろかったけど、寒そうにしている動物たちは、ちよつとかわいそう。でも、また来てみたいな」と話してくれました。久しぶりに子どもたちの歓声が響いた大森山動物園。春の開園まであと一か月です。

若竹学園で ハタチの誓い成人式

横森にある知的障害者の入所施設「若竹学園」で、一月十日、園生の成人式が行われました。五十五人の園生のうち、今年五人が成人の仲間入り。

平野井園長は、一人ひとりに「すてきな笑顔を忘れないでね」「小さい子たちの世話も頑張つて」「いろんな作業を経験して力をつけていきましよう」と温かい励ましの言葉を贈りました。五人を代表して渡部薫さんが「家族や友だちを大切に、これから頑張ります」と、力強く成人の誓いを述べました。



これからの頑張りを強く誓った成人式